



足立山・戸ノ上山 あだちやま とのうえやま

597.8m
517.8m

福岡県



企救自然歩道より大台ヶ原と後方の足立山を望む

北九州の北東部、関門海峡に突き出た半島一帯は企救（きく）山地によりなる。その企救山地の主要な山として足立山、戸ノ上山、風師山があり、これらの山は企救三山と称されている。足立山から風師山へは長い尾根が連なっており、企救自然歩道として縦走が楽しめるコースでもある。

アクセス

登山ルートは足立山、戸ノ上山にそれぞれ登山口はルートがありますが、今回は戸ノ上山から足立山へと企救自然歩道を縦走。
公共交通機関を使い門司駅よりスタートして妙見神社へと下る。
大通りに下りバスにて戻る。



レポート

企救自然歩道を縦走。戸ノ上山から足立山へ（登山日 2019. 12. 08）



参考コースタイム 門司駅～1時間～戸ノ上山～20分～大台ヶ原～1時間10分～富野山～1時間～足立山～1時間～妙見神社～10分～黒原1丁目バス停 **参考歩行時間** 4時間40分

門司駅より国道3号線、県道71号線を経て戸ノ上神社に向かって車道を上がって行く。都市高速の高架をくぐり更に県道を進むと寺内バス停に出合い。その先より曲がり民家の中を上り登山道に取付く。門司駅から見える戸ノ上山の山容は形よく勇ましくも感じる。形良いと言うことは傾斜も急でもあり、登り初めて直ぐ道は急登であり山頂までひたすら続く。道はよく整備されており地元の方に愛されていることが伺われている。



寺内バス停。この先より右に曲がる。



よく整備された登山道。

戸ノ上山頂には妙見神社上宮が祭られており、その手前には避難小屋もある。山頂プレートや三角点がある山頂広場からの展望はよく、関門海峡や下関側が広く眺望できる。



戸ノ上山山頂の神社上宮と避難小屋。



山頂からの眺めは良い。

戸ノ上山より足立山に向かって企救自然歩道を進む。大台ヶ原への下り道途中より視界は開けて直ぐ直下の大台ヶ原、その先の遠くの足立山へ連なる山々が見渡せる。

戸ノ上山から下り大台ヶ原に出会う。

周囲に笹で囲まれ、その中に広々とした空間がそこにある。広場にはベンチも設置されていて休憩にはもってこいの場所である。眺めもよく振り返ると先ほど登った戸ノ上山、これから向かう足立山、右側には関門海峡、左には周防灘に北九州空港と四方に展望も望める。

大台ヶ原から縦走路を下ると直ぐ分岐に差し掛かる。案内には「桃山バス停」になっており、桃山登山口からも戸ノ上山に登れるようである。



大台ヶ原



分岐。桃山登山口への道。

分岐から先はアップダウンを繰り返しながら足立山へ徐々に高度を上げていきます。

ピークも谷山、富野山など幾つかピーク越えていきます。

やがて一等三角点がある足立山山頂へと登頂する。



谷山。



足立山へのラスト急登。



足立山山頂

山頂広場にはベンチが設置されており、プレートがある側とは反対の北側から展望が望める。
先ほどまで関門海峡が望めたが、ここまで来ると小倉の市街や遠くには皿倉山も望めます。



足立山山頂からの眺望。広々も見渡せる小倉の市街と左奥に皿倉山も望める。

足立山からの下りには小文字山を経由して小文字登山口へ下るルート、妙見神社へ下るルート、砲台山を経て安部山公園へ下るルートなどがある。今回私は妙見神社へ下るルートをとってみた。

途中「小文字山」や「妙見山」との分岐に出会い、妙見山へ寄ってみた。プレートなどはなく山頂には妙見神社上宮が祭られている。



妙見山、小文字山などの分岐。



妙見山にある妙見神社上宮。



砲台山、妙見神社分岐。



妙見神社がある登山口。

分岐まで戻り、妙見神社までひたすら下りが続く。妙見神社までの下りには急斜面の下りもあり、梯子を下るところもあった。やがて妙見神社へと下りてきて登山口に出合う。
登山口からは住宅街の中を通り、大通りにあるバス停まで下りる。

